

里海 浜

豊後原中津国



▼2008年度がスタートした。そして、今年はおリンピックイヤー。いよいよ北京オリンピックが開催される。農業混入餃子などの食の安全問題や、チベット情勢など、多くの問題をほらみながらの開催である。私たち「水辺に遊ぶ会」では、オーピングイベントなどで、いかにたくさんの風船が飛ばされ、海を越えてやってくるのだからかと心配している。



▼さて、中津干潟をめぐる情勢だ。「たこ壺体験漁」「海苔体験漁」と、巷の人々が「あんなたち、なんか楽しそうなことやっちゃんなあ」なんてウワサするような挑戦をしてきたが、海と人々と、そして漁業をつなぐことを目的とした私たちの活動は、今年新たな局面を迎えるのである。「ササヒ」の復活だ。

▼昨年参加した「アジア太平洋水サミット」では、環境の悪化が叫ばれ

今の時代に、私たち日本人が生きる未来への指針が多く示されたように思う。

▼ポスト水サミットとして開催された「いい川シンポ」の基調講演で、竹村氏（日本水フォーラム事務局長）がこんな話をされた。「わが国の食糧自給率は、カロリーベースでは4割だが重量ベースでは7割に相当する。つまり米を食べて、近海の魚介でタンパク質を摂取し、食後のデザートは蜜柑か林檎を食べて緑茶を飲んでいけば、ほぼ自給率100%になる」と。冗談まじりながらも、日本の第一次産業にとって勇気をもたらししてくれるような話だと思った。

▼また、水サミットのオーブンイベントのゲストで来ていただいた北海道の漁師さんは、定置網の有効性について発表をしてくれた。動力を使わないこの漁は、まさに環境への負荷が少ない漁法であること。何世代にもわたって、どのような魚種が捕れるかの生きた情報を蓄積すること、環境の変化を知ることができることなどを、大柄な身体に汗をかき

ながら、熱心に説明される姿が今も記憶に残っている。

▼私たちが今年度、漁業者や行政の方々と取り組もうとしている「ササヒ」は、まさにこの定置網の元祖ともいえるべき漁であり、様々な成果が大いに期待できる予感がある。そんな期待をこめて「ササヒ」が近くスタートする。中津干潟をめぐる人と海の関係がより良好になること、干潟にアサリが湧いて、漁業に活気が戻ることを、そして、子どもたちの歓声が浜に響きわたる...

じいちゃんたちが子どもの頃は、学校から帰ったら、浜に行くのが日課だった。籠の焚き付けに、松葉をかいて集めたり、ヒビんまわりについてる魚や貝を拾ったり。宿題なんかせんでいかにかくよう遊んでしまった。

そんな中津の海と浜になるといいなあと思っている。

▼もちろん、干潟観察会もアヤシイ干潟調査隊もビーチクリーンだって絶賛活動中だし、山と川と海をつなぐ活動も忘れるわけにはいかない。全部まるごとひっくりかえって、たくさんの人が中津の海を大好きになってくれて、想いを寄せてくれることが私たちの目指す「里海浜」なのである。今年もきつと大忙し！の水辺に遊ぶ会を、是非ともご支援くださいませ。

■活動報告(2008.1.1~2008.4.26)

- 1.15 全漁連シンポジウムパネリスト
- 1.24 大分県道州制研究会出席
- 1.25 アフター水サミットミーティング
- 1.26 小祝漁港清掃活動参加
- 1.29 いい川シンポ実行委員会
- 1.30 NPO協働推進事業中間報告会
- 2.4 NPO法人水辺に遊ぶ会臨時総会
- 2.6 山国川竹切り出し現場見学
- 2.8 山国川生きもの楽会
- 2.9 海苔すき体験実施
- 2.24 大新田地区舞手川河口周辺環境整備協議会開催
- 2.26 水サミット報告会
- 2.27 がんばれ大分社会貢献ファンド 中津地区助成事業報告会・研修会
- 2.28 三百間現地調査 蛸瀬川住民説明会参加
- 3.2 第4回大新田ビーチクリーン実施 ズグロカモメと冬鳥観察会実施
- 3.5 ボランティア活動研修会参加
- 3.9 いい川シンポ参加
- 3.10 大分臨海ロータリークラブにて講話
- 3.16 沿岸環境連絡協議会「うみの環境教育」(京都大学)にて発表
- 3.26 大分県地方港湾審議会出席
- 4.5 たこつぼ1回目実施(ツボづくり)
- 4.11 県立工科短大新入生研修にて講師
- 4.14 県立工科短大新入生大新田ビーチクリーン指導
- 4.19 おおいた水フォーラム設立準備会
- 4.20 ヒーリングアースイベント協力
- 4.21 大分県道州制研究会出席
- 4.23 がんばれ大分社会貢献ファンド 会議ごみゼロ大分県民会議出席 宇佐2001ロータリークラブにて講話
- 4.24 九州ろうきんNPO助成フォーラム出席
- 4.26-27 たこつぼ2回目実施(野焼き)

2008年度「作っちゃおう食べちゃおう~古代人になって中津干潟でたこつぼ漁に挑戦だ」は、一部「九州ろうきんNPO助成」をいただいて実施しています。

■「水張って一夜浅瀬を飼う」とし、高間礼子作 桜の花びらが散る景色を見て、年ごとに感想が変わる。風花と化した花の舞も美しくあわれなだけ、葉桜のたくましさはまばゆい。(あ)

■今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山に入りて...竹取物語な気分のお玉、見つからないかしらん。(う)

伝言板



★水辺に遊ぶ会6月の行事予定★
同封のチラシを見てね!!

竹取部隊隊員募集中

ササヒ設置のための竹を山で切り出す作業をお手伝い下さるスタッフさんを募集中です。

日程 (5月)
17日(土)・18日(日)
24日(土)・25日(日)・31日(土)

年齢、性別、資格問いません。
足腰に自信のある方ならどなたでも!

特典：ササヒへご招待

昔の海の写真募集中

ササヒ・浜遠足・貝掘り・漁業などなど
昔の海の写真を探しています。
お心当たりのある方は事務局まで

アヤシイ干潟調査隊2008★隊員募集中

来年もカブトガニ調査や干潟調査を計画中です。
我こそは!と思う方、興味のある方、力持ちの方、減量中の方...事務局までご連絡ください。

今年もアヤシイ干潟調査も計画中国中

@@会の運営や行事のお手伝いをしてくださる@@
@@ボランティアスタッフさんも随時募集中です@@

★毎月11日はジャスコでお買い物★イオン三光SCイエローレシートキャンペーン★
毎月11日にお買い物をした黄色いレシートを食品レジ前の「水辺に遊ぶ会」BOXに入れていただくと、金額の合計の1%が水辺に遊ぶ会の活動資金として寄付されます。

ホームページ営業中! 遊びに来てね!!

<http://www.max.hi-ho.ne.jp/y-ashikaga/>

水辺に遊ぶ会MUSEUM

水辺に遊ぶ会ミュージアムは「建物のない博物館です」

<http://www.geocities.jp/kabunykun/index.html>

メールはこちらへ→mizube1999@yahoo.co.jp

海にくと、なんだかワクワク うれくなるのはなんでだろう。

お日様が元気になって、青い空に白い雲がぽつかり。長靴はいて、バケツとスコップ持って、そうそう帽子も忘れずに。生命があるれる初夏の干潟は、やっぱりどこよりも楽しい場所だね。

モトマロの五島

▼ワタクシ、長崎福江島にもごみを拾いに行きます。島の北部、岐宿海岸は群青の海と白い波、それと漂着物でワンセット。だけど3月は拾うごみの量が減りましたの。ナゼって強風で海岸の漂着ごみそのものがブッ飛ばされたから。島の気候を侮るなかれ。

▼ごみとはいえど、いつもの習慣でタカラモノ（アベコレともいいますの）が目に入るワタクシ、中国から飛んできた風船、韓国のプラスチック製の名刺（海運業）、そして中国製のピンポン玉、PUMAならぬPomeという商標製品を拾えてカンゲキ。ごみの種類は陸地に近いところ程、生活感にあふれて生々しくなります。たかがごみ、されどごみ。ごみは「生きてる情報」ってことを痛感する五島列島ビーチコーミングなのであります。

...ってなワケで アベコレin五島 フーセンコレクション



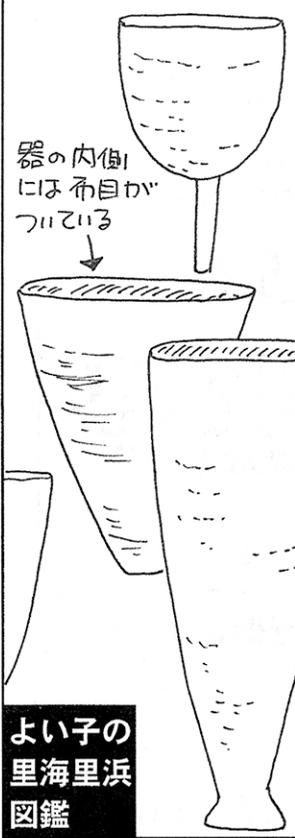
よい子の 里海里浜 図鑑

中津干潟にアヤシイ集団?

★お日様もハイなゴールデンウィークの5月4日、三百間浜と大新田海岸に大型バスが停まり、中からフシギな一行が…。胸長姿にシャベルやらカメラやら望遠鏡やら持った人々が歓声を上げている。なんしよん?と近づくと、何やら大人も子どもも、みんな関西弁。大阪自然史博物館友の会の面々総勢70名様が、干潟遊びにいらっしゃったのであーる。えっ?モノズキな? いえいえ、それだけ中津干潟がスゴ〜い場所だからなんですよ。

水辺に遊ぶ会ミュージアムNo.6 製塩土器(せいえんどぎ)

▼さかのぼること1500年の古墳時代。そう、お馴染みのたこぼれ遺跡と同じ頃、古代中津人はどうやって塩を作っていたのだろう? 海藻を海水につけて干す。これを何回も繰り返し、海藻に付着した塩分を海水で洗い出してかん水(濃い塩水)を作り、土器で煮つめて塩をつくったのだそう。▼この製塩用の土器は中津市沿岸の遺跡でも出土する。なぜかみんな壊れているのは、煮詰めた土器のまま持ち運んで、塩を使うときに土器を割って取り出したからなのだ。



よい子の 里海里浜 図鑑

日師匠に聞く 中津ん『笹干見漁』

ヒビは本当に小学校の子どもから大人までがね、いろんな魚捕る道具を持ってね、遊び行くところで、けっこう良い物も捕れました。私達は三つの袋の魚をこのザルに入れたらもう帰るんです。まだ潮が残って魚が中で遊びよる。それを皆さんが魚捕りね…。(ヒビの権利を持っていない人が捕ってもいいの?) いや、それはもういい。私達が取った後だから。この三つの袋を私達が持って帰った後は、皆さん遊びに来ちよる人が自由だね。網はあつちやいかんけど、中におる魚はもう、捕ったもん勝ちや。(ヒビの権利を示す書類はあったのか?) 権利書かね? それは定置漁業権言うて、当然作る権利があったんね。マス網と同じ。これはもう県からちゃんとした許可をもらって…。証票は記憶にないんじやけどね。まあ、どうしてヒビがなくなつたかと言うと、海苔が昭和三十何年頃に盛んになつたんですね。で、ヒビが笹でね、やっぱり潮通しも悪いし邪魔になることで、だから私達も海苔の権利をやるからに、もうヒビは撤去してくれと言われた。それが昭和四十年頃じゃないかと思いますが、はっきり覚えてません。(次号へつづく)

★2007年度大新田海岸ビーチクリーン&漂着物調査結果★

寒い中、暑い中、たくさんの方々にご参加いただきました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

参加者約700名

回収した ゴミの量	粗大	可燃	不燃	ごみ種別 ワースト3
	420Kg	1020Kg	430Kg	1位: プラスチック破片
				2位: ガラスの破片
				3位: 発泡スチロールの破片